

すがわら進 News

川崎市議員

小さな声を 大きな力に

すがわら進ニュース 第163号

発行者：公明党川崎市議団
 発行人：菅原進
 住所：川崎市多摩区登戸3095
 電話：044-933-2043
 印刷所：光明印刷
 (幸区塚越4-345-105)



ずっと住みたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。

平成29年 第4回 定例会(12月議会) 「すがわら進」議員は、平成29年12月 第4回定例会の代表質問で「環境施策」等を担当。一般質問では4項目を質問しました。

ポイント
代表質問の

「すがわら進」議員は、環境施策として地球温暖化防止対策を求めました。また、ゴミ収集の際、住民の安否確認を行い高齢化社会へ対応するよう訴えました。市長と局長より全市的に積極的に取り組んでいく、との答弁がありました。



● 一般質問での4項目 ●

1 核兵器のない世界を目指せ!

2017年7月、国連で採択された「核兵器禁止条例」。その運動を推進してきた国際的なNGO連合体「ICAN」がノーベル平和賞を受賞したことについて市長の見解を求めました。市長からはICANの活動に敬意を表するとともに、他の自治体と連携し全力で支援していく、との答弁がありました。

2 登戸区画事業は計画より前倒しで推進せよ!

「すがわら進」議員は、登戸区画事業は計画期間内より前倒しで推進するよう強く訴えました。また、小田急線・登戸駅に快速急行が3月から停車することに合わせて、さらなる地域の活性化を図ることを求めました。

市長は「計画期間内に速やかに事業の完了を図っていく」と答弁。まちづくり局長からは、登戸地域のにぎわいの創出へ前向きに検討していくとの回答を得ました。

3 福祉関連事業全般を促進せよ!

少子・高齢化や核家族化など様々な課題に直面している今こそ様々な課題解決に向け、市としての具体的な施策を求めました。菊池副市長からは「人材育成が最重要であり地域の人材と専門職が相互に連携し誰もが安心して暮らせる地域社会を作っていく」との答弁がありました。

4 広域的戦略で臨海部のさらなる活性化を!

①「すがわら進」議員は、本市の「臨海部30年ビジョン」を日本を20年間の経済の停滞となった要因である「先送り」をやめ「先取り」をするバックカスティング思考の提案者の一人として高く評価。その上で川崎市が国を牽引して産業拠点であり続けるよう求めました。市からは「すがわら進」議員の意見に沿った方向で今後も取り組んでいく、との答弁がありました。

②「すがわら進」議員は川崎市だけでは限界があり東京・川崎・横浜がそれぞれの特性を生かして国と連携して国際競争力を高めていくべきと主張しました。市は「臨海部30年ビジョン」の推進へ国のプロジェクトの誘導などを積極的に進めていく、と明言しました。

③また、羽田国際空港の隣接地という地の利を活かし国の事業として「国際展示場」の設置を提案しました。市長は広域的な視点から意欲的に検討していくと答弁しました。

④国際交流については、本市が世界にどのように貢献できるのか、さらに国際的な人材確保等を質問。上下水道事業管理者、経済労働局長、港湾局長、臨海部国際戦略本部長、総務企画局長からそれぞれ答弁があり、全庁的に情報を共有し国際施策を推進していくことになりました。

地域実績

ネットワーク政党の特性を活かす!

小田急線快速急行 登戸駅停車が3月から実現!

「すがわら進」議員は、平成18年9月19日に国土交通省を訪ね北側交通大臣に小田急線登戸駅に快速急行列車の停車を求める3万人超の署名簿を上田勇衆議院議員、地域代表の松島健寿氏らと手渡しました。

また同年11月20日には、小田急電鉄(株)に登戸南部町会会長・登戸駅前商店街会長の手塚

紀行氏も加わり署名簿を提出(肩書きはすべて当時のもの)。この時から12年の歳月が経過しましたがついに実現にこぎつけました。

地域の皆さんや利用者の方から『「すがわら進」議員の情熱と地域の思いが国を動かしたことに感動でいっぱいです』と喜びの声が沸き起こっています。



平成18年9月19日、国土交通省で当時の北側国土交通大臣に3万人超の署名簿を手渡す



小田急電鉄(株)へ署名簿とともに申し入れを行う「すがわら進」議員とすすめる会の代表の皆様

トピックス TOPICS 第3次 デンマーク視察報告《2》

私・すがわら進を団長として2017年10月25日～11月1日の日程でデンマークを中心に欧州2カ国を訪問。10月25日～26日はオーデンセ市庁舎を表敬訪問しました。その際、オーデンセ副市長に川崎市長の親書を手渡し両市の今後の発展について意見交換をしました。また、デンマークの優れたロボット産業を大きく進展させたロボティクス社を視察、大変参考になりました。

さらに、デンマークを代表する童話作家アンデルセンの足跡が展示されている市立博物館を見学。2017年4月に川崎市で開催した「アンデルセン展」の成功への御礼を申し上げました。同博物館は今後2年間をかけて日本人の設計者の手によって建て替えられるとのこと、完成が楽しみです。



オーデンセ副市長に親書を手渡す「すがわら」団長と山田長満川崎商工会議所会頭

市議会議員 すがわら進 暮らしの110番

市民相談 お気軽に!
 控入室 電話：044-200-3361
 自宅 電話：044-933-2043
 FAX：044-933-1950

すがわら進のHPがスマホ・タブレット対応にリニューアルしました!
 URL <http://www.susumu-news.com>
 すがわら進のメールアドレスが新しく変わりました!
 E-mail s@susumu-news.com

すがわら進のプロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
 ●川崎市議会議員に5期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部副代表、川崎市議会前副議長、多摩第2支部長 ●中央大学学生会幹事・学校法人中央大学前評議委員 ●海城学園海原会常任幹事